

# (1) 平成29年 7月九州北部豪雨の事例 (宅地嵩上げ-土砂災害対策)

平成29年7月5日～6日にかけての集中豪雨の影響により、福岡県と大分県を中心とする九州北部で甚大な被害が発生した。福岡県朝倉市では、市内各地で多数の山腹崩壊が発生するとともに大量の土砂と流木が流下し、住家をはじめとする市民の財産や道路、河川、農地等に甚大な被害が発生した。特に、河川沿いの地域においては大量の土砂や流木による直接的な被害のほか、これらの堆積土砂等が早期復旧を妨げるようになった。

出典：「朝倉市：朝倉市復興計画,平成30年3月.」



図-1 市内の被災状況



図-2 大量の土砂堆積

イメージ図

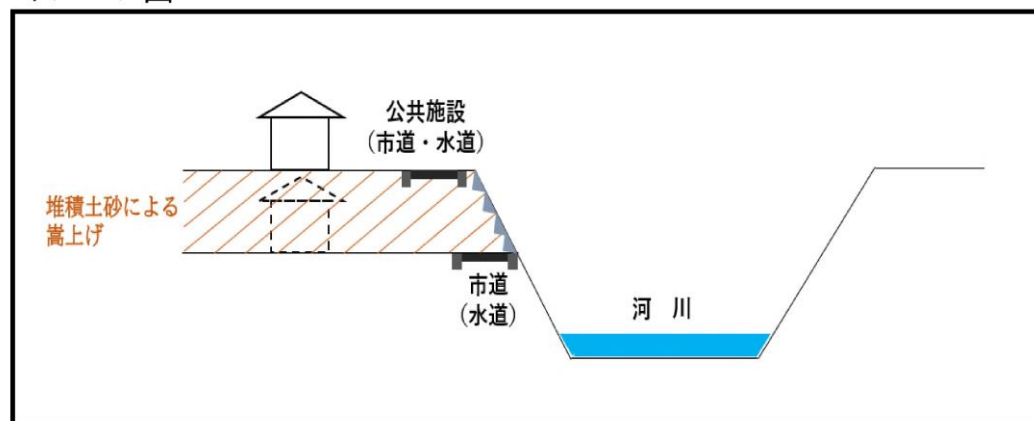


図-3 嵩上げ対策のイメージ図

写真：「朝倉市：平成29年7月九州北部豪雨朝倉市災害記録誌,平成31年3月.」